

安全ニュース

2020年4月号

令和2年4月1日
千代田運輸株式会社
CHIYODA
安全推進室 発行
(No.358号)

令和2年3月 発生事故

- ◆ 加害事故 関東車輛(株) 3/23(月) 9:09頃発生
高速道路の合流地点で走行車線から一旦、追越し車線に移動し、再度走行車線に戻る際、安全不確認のまま進路変更をしたため、合流車線から走行車線に入ろうとしていた相手方車両に自車左前部を接触させたもの。
- ◆ 加害事故 (有)丸天 3/25(水) 14:33頃発生
首都高の第2車線から第1車線に進路変更をする際、安全不確認のまま進路を変更したため、第1車線を走行中の相手方に接触させたもの。
- ◆ 加害事故 千代田運輸(株) 3/27(金) 8:50頃発生
都道を走行し交差点を左折する際、オーバーハングにより、直進車線を走行中の相手方車両に自車右後部を接触させたもの。

春の交通安全強化月間の実施

4月6日から15日までの10日間、春の全国交通安全運動が実施されます。それに合わせ千代田グループは、4月の1か月間、春の交通安全強化月間を実施します。
月間中だからといって、特別な運転をする必要はありません。「無事故の五大原則」を遵守すれば、ほとんどの事故は防ぐことができます。
「無事故マラソン」も中盤に差し掛かりました。一人ひとりが当たり前のことを当たり前に実践し、無事故運転を継続しましょう。



新型コロナウイルスの感染予防を！

交通機関での移動時等は「咳エチケット」でトラブル防止！

新型コロナウイルスの感染が全世界に広がる中、東京オリンピックの延期が決定し、また、著名人が亡くなるなど、その感染力の強さと怖さを再認識された方もおられると思います。
マスクが店頭から消えた状況下で、簡易マスクを作って対応している方もおられます。こまめな手洗いなど、一人ひとりが、今出来る感染予防対策をして、「感染しない・させない」ことが求められています。電車・バスでの移動時には「咳エチケット」で、無用なトラブルも予防しましょう。



一瞬のわき見で 車が進む距離は何m？

時速60kmで1秒間わき見をすると、車は約17mも進んでしまいます。このとき、目の前を歩行者が横断してきたら、発見が遅れ衝突する危険が非常に大きくなります。
運転中の携帯電話などの使用はもちろん軽い気持ちで前方から目を離す行為は、絶対にやめましょう。



ドラレコ評価点数 高得点者ランキング

高得点者続出！ 90点オーバーが36人で最多！

- 1位 千代田運輸(株) 西塚 昭男さん (98点)
- 2位 (有)丸天 落合 哲也さん (96点)
- 3位 丸一ロジテック(株) 荒井 宏明さん (95点)
- 4位 東西配送(株) 高野真一郎さん (95点)
- 5位 関東車輛(株) 田川 恒光さん (95点)



※ 走行距離が月間1,000km以上の方を対象とし、同点数の場合は走行距離が長い方を上位とします。

私の交通安全

東西配送株式会社 高野 真一郎 さん(陸送)



- Q 安全運転の心構えを教えてください。
A あたり前の事ですが、車間距離と法定速度の遵守、それから早めのブレーキング、これに尽きると思っています。
- Q 趣味・余暇の過ごし方を教えてください。
A 学生時代に組んだバンド仲間との演奏や雑談は、楽しく時間を忘れる程で、私はベースギターを担当しています。
- Q あなたの自慢話を教えてください。
A バンドで、ヤマハポップコーンコンテストに出場経験があります。中西圭三始め、同じサークルの後輩で、プロデビューして成功した者も多くなります。
- Q ご自分の性格を自己分析してください。
A 怒ることがほとんどないので、自分では「温厚」な性格だと思っています。
- Q 座右の銘を教えてください。
A 「初心忘るべからず」です。慣れすぎると、大きな失敗につながりますから。
- Q 最後に、同僚や後輩の乗務員さんに対して、ひと言をお願いします。
A 私達が運んでいるのは「商品車」だということを常に意識した運転を心掛けましょう。日野ブランドを汚さないという「責任」も運んでいる訳ですから。
※ 高野さんは、3月のドラレコランキング4位(95点)の乗務員です。

自転車との事故を防ごう！

近年、健康志向の高まりから、自転車での通勤者を見かけることが多くなりました。しかし、自転車通勤者の中には、見通しの悪い交差点で一時的停止をしない、信号無視をする、道路を逆走する、そして右の図のように、後方の安全を確認せずに急に進路を変更し、道路を横断するなど危険な運転をする人も、数多く見受けられます。
通勤自転車の往來が予想できる時間帯は、危険予測をしっかりと働かせながら、運転してください。
また、通勤自転車を発見した時は、その動静を確認しながら慎重な運転をお願いします。



運転中の疲れ目に注意！

運転中にもっとも疲労を感じやすいのは、「目」だと思います。徐々に視野が狭くなったり、目がトロンとしてきたと感じ始めたら要注意です。
以前、連続して運転した場合に視力はどのような影響を受けるのか、という実験が行われたことがあるそうです。
それによると、視力は運転時間が長くなるほど徐々に低下していき、人によっては運転前の検査時と比べて両目で0.3程度、低下したという結果が出たということです。
疲れ目を緩和する方法としては、目薬を差したり、目の周りの筋肉をほぐすようにマッサージをしたり、温かいタオルやおしぼりでまぶたを覆うなどの方法が効果的ですが、もっとも大切なことは、目を休ませることです。
「少し疲れた」とか「眠くなってきた」と感じる状態に陥ったときは、疲労が蓄積している状態です。このようなときは、我慢せず安全な場所に停車し、休憩をとることが事故防止につながります。



編集後記

新型コロナウイルスが猛威を振るい、拡大の一途をたどっている状況下で、新年度がスタートしました。昨年度、不具合を惹起した会社様は再発防止を、昨年度、無事故の会社様は引き続き安全輸送の継続をお願いします。
どんな状況下にあっても物流を担う私達ができることは、安全確実な輸送を続けることです。こんな時こそ平常心を保ち、日々、愚直にやり遂げましょう。